

はじめに

三重大学地域創発センター長

山本 俊彦

三重大学は、主として、人材養成や地域貢献を課題とする取り組みなどを通じて、地域に貢献するとともに、専門分野を配慮しつつ、強み・特色のある分野で、世界ないし全国的な教育・研究を推進する方向に軸足を置いて、機能強化や組織再編を進めていこうとしています。こうした地域のイノベーション大学・中核大学としての取り組みの一つが「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」です。

三重大学のCOC+は、三重県における雇用の創出と若年層の県内就職率の向上につながる持続可能な地域の活性化と開発の方向を「食と観光分野」、「次世代産業分野」、「医療・健康・福祉分野」の3つで捉え、各々の分野をリードできる「ファンタジスタ(柔軟で豊かな創造力に富んだ発想と行動のできる人材)」を養成することを狙いとしています。具体的には、「地域志向科目群」、「地域実践交流科目群」、「地域イノベーション学科目群」の3つのステージで構成する「三重創生ファンタジスタ」資格認定副専攻コースを全学部・全学科で展開し、三重県の現状を熟知し、三重県の地域や産業の課題の発見と解決方法を地域や現場の人たちと多面的なコミュニケーションを図りながら、産・官・学・民が一体となったオール三重体制を構築し、今後の三重県を展望しつつ、三重県の新時代を切り開くことのできる人材を育成しようとするものです。

地域及び地域産業の活性化や創生のためには、地域に生まれ育った学生が、地域の課題を自分たちの現在と未来の問題としてとらえ、意欲的・意志的に問題の発見と課題の解決に関与するようになることが重要になります。したがって、資格認定副専攻の3つのステージと科目群は、「知る」(再発見・再認識)―「学ぶ」(体験・経験を通して学ぶ)―「考える」(再構成・発信)という体系として構成し、理論と現場実践を往還させるプログラムであることを重視しています。

index

03	副専攻コースとは 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+) COC:Center of Community
04	三重創生ファンタジスタ資格とは 三重創生ファンタジスタ/対象学年
05	副専攻コースの仕組み 3つの科目群とは 地域志向科目群/地域実践交流科目群/地域イノベーション学科目群
	平成29年度授業科目一覧
07	教養教育機構
08	人文学部/教育学部
09	医学部/工学部
10	生物資源学部
12	三重創生ファンタジスタ専任教員担当科目紹介
	平成29年度履修モデル紹介
14	人文学部
15	教育学部
16	医学部
17	工学部
19	生物資源学部
21	カリキュラムマップ
22	履修登録手続き
23	資格認定までの大きな流れ
24	副専攻コースにおける相談窓口・提出窓口
25	よくある質問

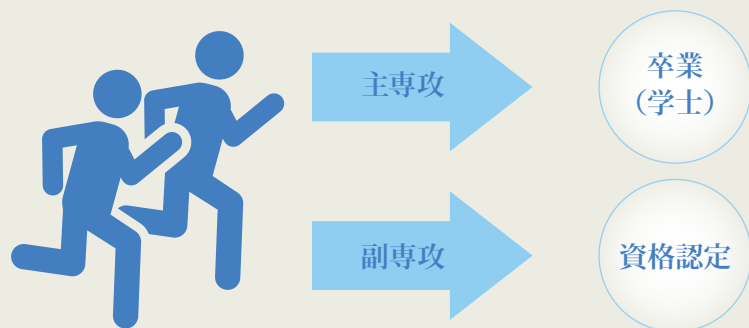


三重創生ファンタジスタ 資格認定副専攻ガイド

副専攻コースとは

三重大学では、平成28年度より、文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+) (※)」のもと、『三重創生ファンタジスタ』を養成すべく、資格認定副専攻コースが設立されました。

副専攻コースとは、自分の所属する学部・学科の履修案内等に記載される「卒業単位数」で認定される教育カリキュラム(学生自身が所属する学部＝主専攻)とは異なり、学部を越えて学ぶことができる科目を含む教育カリキュラムのことを言います。学部・学科は関係なく、希望した全学生が資格認定副専攻コースを受講できます。三重創生ファンタジスタ資格取得にかかわる授業科目の多くは、教養教育機構及び各学部・学科の卒業単位としても位置づけられていますが、一部の科目については、卒業単位としてはカウントされないものもあります。また、卒業単位を超えて履修することになるものもあります。三重創生ファンタジスタ資格は、主専攻で定められている卒業に必要な単位を全て修得しなければ、資格認定副専攻コースの資格認定はされません。



修了者には認定書を発行

※ 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+) COC:Center of Community

大学が地方公共団体や企業等と協働して、学生にとって魅力ある就職先を創出するとともに、その地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムの改革を断行する大学の取組を支援するもの。

三重創生ファンタジスタ資格とは

資格認定副専攻コースの大きなメリットは、主専攻で学修した内容の補強や主専攻以外の第二の強みを獲得できることは勿論のことですが、何よりも『三重創生ファンタジスタ』という資格が学内で認定されることにあります。『三重創生ファンタジスタ』とは次のような人材を指します。

三重創生ファンタジスタ

地域の課題に関してさまざまな主体と多面的な視点から対話しながら地域のイノベーションを推進できる人材

状況や事態を的確に把握し、複眼的な視点から柔軟で創造力に富んだ発想や思考ができ、行動力とリーダーシップを発揮しながら、周りの人と協働できる人材

以降で示す、3つの分野の『三重創生ファンタジスタ』に認定されると、「三重大学 資格認定副専攻コース修了認定書」が発行されます。「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」は県や市町、県内地方公共団体や企業等と協働して実施する事業ですので、県内就職先に認知されており、様々な場面でアピールすることが可能です。

対象学年

『三重創生ファンタジスタ』資格認定副専攻コースを受講できる学生は、平成28年度以降の入学生が対象です。平成28年度編入生及びそれ以前の入学生、編入生は対象となりませんので、注意してください。

副専攻コースの仕組み

『三重創生ファンタジスタ』は特に3つの分野である「食と観光」、「次世代産業」、「医療・健康・福祉」に強い人材を育てることを目標としています。また各分野には、テーマに即した科目のラインナップが用意されています。具体的には、「地域志向科目群」、「地域実践交流科目群」、「地域イノベーション学科目群」の3つの科目群が用意されており、そこから12単位以上(各科目群における必要最低単位は修得要)修得することで、各分野における地方創生のエンジンとして活躍できる人材が育成されるようになっていきます。

3つの科目群とは

資格認定副専攻コースは、3つのステージに分けており、段階的にステップを踏むことで、学びが体系化されるようになっています。各科目群の趣旨、概要は次のとおりです。

01 地域志向科目群 (4単位以上)

三重県全体の課題や取組を『知る』ことに主眼を置いており、三重県や地元を再発見し、再認識するための科目群です。また、教養教育の必修科目である「スタートアップセミナー」を位置づけており、地域課題の解決方法を模索したビデオ教材を視聴し、グループ毎に討論することになります。

地域志向科目群で育つ資質、能力

- 地域や産業の実情について学び、地域創生やソーシャルイノベーションの必要性や重要性についての認識を広げる。
- 三重県の自然・地理、歴史・文化、産業・経済、観光、教育、医療・介護福祉などについて学び直し、三重県の今とこれからのための問題意識を深める。
- 創造力、問題発見・探求力、郷土愛(郷土に対する興味と関心)を養う。

02 地域実践交流科目群 (2単位以上)

地域志向科目群で発見した三重県全体の課題について、特に興味を持った分野の課題を実際に体験することで、より身近に課題を感じる事が出来ます。また、課題解決に向けた取組を体感し、実際に周りと協働して提案する等、主体的に課題に向き合うことが出来ます。

地域実践交流科目群で育つ資質、能力

- 地域に入り、さまざまな分野や地域の活動に参加・参画することを通して、現状や課題を体験的に理解するとともに、背後にある三重県の特徴や特質についての理解を深める。
- コミュニケーション力、実践・行動力、情報収集・分析力、理解・判断力を養う。

03 地域イノベーション学科目群 (2単位以上)

地域志向科目群で課題を発見し、地域実践交流科目群で主体的に課題解決に向けて提案することで、今までの自分自身の価値観、考え方が変わり、周りの考え方との差異に気付くこととなります。地域イノベーション学科目群では、異なった価値観、考え方を再構成し、幅広い視野を手に入れることで、柔軟な思考が出来るようになることを目的としています。

地域イノベーション学科目群で育つ資質、能力

- 地域や個々の現場における課題や問題を踏まえながら、また、地域の人と協働しながら、地域や産業の活性化や再生、創生や創出に向けたプロジェクトや共同研究を組織し、具体的なアイデアやプランを提起・提案できるようになる。
- 地域開発や地域創生等にかかわる特定の学問分野(経済学、統計学、行政学、マーケティング論、環境科学論等々)について学び、実践と理論の融合を図る。
- 柔軟な発想・構想力、複眼的・俯瞰的な思考、企画・計画力、リーダーシップを養う。

平成29年度授業科目一覧

※以下の科目は平成29年度対象の科目であり、平成30年度以降、科目が変更される可能性があります。

※「スタートアップセミナー」は全学必修科目であるため、「平成29年度授業科目一覧」には記載していません。

教養教育機構

科目群	分野	授業科目名	テーマ	教員名	単位	※1	備考
地域志向	-	環境科学	ISO環境管理学	佐藤 邦夫 他	2	-	
	-	日本文化論B	日本の海女文化	塚本 明 他	2	-	
	-	生物資源学A	食と農	波野 豪 他	2	-	
	-	日本理解特殊講義S	地域の仕事を知る	西村 訓弘 他	2	-	
	-	地域と仕事	地域の仕事を知る	西村 訓弘 他	2	-	キャリア教育科目
	-	医学医療B	臨床医学の最近の話題	影山 慎一 他	2	-	
	-	日本史C	江戸時代の古文書	塚本 明	2	-	
	-	医学医療B	急病の観察と判断	丸山 一男	2	-	
	-	三重学	「四日市学」の確立	朴 恵淑 他	2	-	
	-	キャリアアブランニング入門	キャリアアブランニング	長谷川 岳雄	2	-	キャリア教育科目
	-	キャリア形成論	考える&伝える技術	長谷川 岳雄	2	-	キャリア教育科目
	-	現代社会理解実践	環境インターンシップ	平山 大輔 他	2	-	
	-	環境科学	環境化学	廣瀬 和久	2	-	
	-	日本史B	忍者の歴史	山田 雄司	2	-	
	-	現代社会理解特殊講義	MIEUポイント	山村 直紀 他	2	-	
	-	医学医療C	現代社会と健康	片岡 三佳 他	2	-	
	-	スポーツ健康科学概論	-	保健体育担当教員	2	-	
	-	現代社会理解特殊講義	男女共同参画基礎	尾西 康充 他	2	-	
	-	三重学	三重の社会と文化	花見 禎子	2	-	英語で実施する授業 国際交流センター開放科目(12名)
	-	人文地理学C	津市フィールドワーク	安食 和宏	2	-	受講人数制限(30名)
-	医学医療C	いたみの科学	丸山 一男 他	2	-		
-	医学医療入門	医の倫理と社会的課題	望木 郁代 他	2	-		
-	国際保健と地域医療	世界の地域保健と医療	堀 浩樹 他	2	-		
-	地域防災論	三重県の防災と復興	宮岡 邦任 他	2	-		
-	防災論	自然災害と防災・減災	川口 淳 他	2	-		
-	企業研究入門	企業・社会人を知る	長谷川 岳雄	2	-	キャリア教育科目	
-	現代社会理解実践S	障がい学生への支援	栗田 季佳 他	2	-		
-	障がい学生支援実践	障がい学生への支援	栗田 季佳 他	2	-	キャリア教育科目	
-	知財学	発明・知財入門	松岡 守 他	2	-	キャリア教育科目	
-	三重学	三重ブランドの創出	朴 恵淑 他	2	-		
-	情報科学基礎B	-	深井 英喜	2	-	人文学部法律経済学科対象科目	
-	環境科学	海に親しむ	前川 陽一 他	2	-	受講人数制限(24名)	
-	自然科学概論	森は生きている	沼本 晋也 他	2	-	受講人数制限(20名)	
-	生物資源学A	土は生きている	奥田 均 他	2	-	受講人数制限(20名)	
-	日本理解特殊講義	三重の歴史と文化	永野 聡 他	2	-	三重創生ファンタジスタ専任教員担当科目	
-	現代社会理解特殊講義	三重の産業	永野 聡 他	2	-	三重創生ファンタジスタ専任教員担当科目	
F	三重学	食と観光実践	永野 聡 他	2	-	三重創生ファンタジスタ専任教員担当科目 受講人数制限(20名)	
N	現代社会理解実践	次世代産業実践	永野 聡 他	2	-	三重創生ファンタジスタ専任教員担当科目 受講人数制限(20名)	
M	日本理解特殊講義	医療・健康・福祉実践	永野 聡 他	2	-	三重創生ファンタジスタ専任教員担当科目 受講人数制限(20名)	
C	インターンシップ入門	インターンシップ	長谷川 岳雄	2	-		

※1. 他学部生等の受講

人文学部

科目群	分野	授業科目名	教員名	単位	他学部生等の受講	備考
志地 向域	-	環境学概論	朴 恵淑	2	○	
	-	地域から考える文化と社会	各学科長(代表)	2		
地域実践交流	C	専門PBLセミナーA	法律経済学科教員	2		
	C	専門PBLセミナーB	法律経済学科教員	2		
	M	福祉経済論	石塚 哲朗	4		
	F	日本の歴史C	塚本 明	2		
	F	日本の歴史D	塚本 明	2		
	F	日本の歴史F	塚本 明	2		
	F	日本歴史演習C	塚本 明	2		
	F	日本歴史演習D	塚本 明	2		
	F	日本歴史演習G	塚本 明	2		
	F	日本歴史演習H	塚本 明	2		
	C	自然環境論	朴 恵淑	2	○	
	M	社会保障論	石塚 哲朗	2	○	
	C	地方自治論	岩崎 恭彦	4	○	他学部生10名まで
	C	行政法総論	前田 定孝	4	○	他学部生10名まで
	C	財政学	川地 啓介	4	○	他学部生10名まで
	C	産業経済論総論	豊福 裕二	4	○	他学部生20名まで
	C	日本経済論	森 久綱	4	○	他学部生20名まで
	C	地域経済論	朝日 幸代	4	○	他学部生10名まで
	C	経営学総論	青木 雅生	4	○	他学部生20名まで
	地域イノベーション シジョン学	C	産業経済論総論演習	豊福 裕二	4	
C		日本経済論演習	森 久綱	4		
C		地域経済論演習	朝日 幸代	4		
C		経営学総論演習	青木 雅生	4		
M		福祉経済論演習	石塚 哲朗	4		
C		地方自治論演習	岩崎 恭彦	4		
C		行政法演習	前田 定孝	4		
C		財政学演習	川地 啓介	4		
F		日本歴史総合演習A	塚本 明	2		
F		日本歴史総合演習B	塚本 明	2		
C		日本経済論特論	森 久綱	2	○	
F		歴史学概論B	塚本 明	2	○	他学部生10名まで

教育学部

科目群	分野	授業科目名	教員名	単位	他学部生等の受講	備考
地域志向	-	消費者教育論	吉本 敏子	2	○	
	-	特別支援教育観察参加	荒川 哲郎、菊池 紀彦、郷右近 歩、栗田 季佳	2		
	-	教育実地研究基礎	荒川 哲郎、菊池 紀彦、郷右近 歩、栗田 季佳	1		
	-	技術学概論	松岡 守、魚住 明生、松本 金矢、中西 康雅	1		
	-	工場見学	松岡 守	1		
地域実践交流	F	調理実習II	平島 円	1		
	F	食品学	磯部 由香	2		
	F	食生活論	平島 円	2		
	N	教育実地研究基礎	魚住 明生	1		
	N	教職実践演習	松岡 守、魚住 明生、松本 金矢、中西 康雅	2		
	M	知的障害者の教育と福祉	荒川 哲郎、栗田 季佳	2		
	M	教育実地研究基礎	保体教員	1		
	M	レクリエーションスポーツ	大隈節子	1		
	M	野外運動I	岡野 昇	1		
	M	衛生学及び公衆衛生学	重松 良祐	2		
地域イノベーション シジョン学	M	健康管理学	富樫 健二	2		
	F	食物学実験	磯部 由香	1		
	F	食品材料学	磯部 由香	2		
	N	機械工学概論	松本 金矢	1		
	N	電気工学概論	松岡 守	1		
	N	木材工学概論	中西 康雅	1		
	N	金属加工学概論	中西 康雅	1		
	N	情報工学概論	非常勤講師	1		
	M	教育実地研究	荒川 哲郎、菊池 紀彦、郷右近 歩、栗田 季佳	2		
	M	教職実践演習	荒川 哲郎、菊池 紀彦、郷右近 歩、栗田 季佳	2		
M	健康管理学演習	富樫 健二	1			
M	衛生学及び公衆衛生学演習	重松 良祐	1			
M	教職実践演習	岡野 昇、加納 岳拓	2			

医学部

科目群	分野	授業科目名	教員名	単位	他学部生等の受講	備考
地域志向	-	食生活論	樋廻 博重	1	○	当科目の受講に相応しい生化学・栄養学の知識を持つ学生が対象。
	-	災害看護学	西出 りつ子 他	1	○	当科目の受講に意欲的な学生が対象。
地域実践交流	M	医療と社会	竹村 洋典 他	4		
	M	地域基盤型保健医療教育実習	堀 浩樹 他	4		
	M	社会と医学	笠島 茂、村田 真理子、那谷 雅之 他	3		
	M	小児看護学II	村端 真由美、仁尾 かおり 他	1		
	M	成人看護学実習II	辻川 真弓 他	4		
	M	老年看護学実習II	平松万由子 他	2		
	M	精神保健看護論	小森 照久 他	1	○	当科目の受講に意欲的な学生が対象。
イ域ノバージョン学	M	公衆衛生看護学II	西出 りつ子、畑下 博世、石本 恭子	4	○	当科目の受講に意欲的な学生が対象。
	M	臨床実習	各診療科教員	60		
	M	看護システム論II	宮田 千春	1		
	M	統合実習I	統合実習I担当教員 他	2		
M	統合実習I(地域看護学)	畑下 博世、西出 りつ子、石本 恭子	2	○	当科目の受講に意欲的な学生が対象。	

工学部

科目群	分野	授業科目名	教員名	単位	他学部生等の受講	備考
地域志向	-	機械工学フレッシュマンゼミナール	各教員	1		
	-	機械運動学	野村 由司彦	2		
	-	交通機械	竹市 直、松本 光一郎、藤田 将一郎	2		
	-	物理学セミナー	各教員	2		
地域実践交流	N	工場実習	各教員	1		
	N		各教員	1		
	N	工場見学	各教員	1		
	N		各教員	1		
	N		各教員	1		
	N		各教員	1		
	N	企業見学	各教員	1		
	N	インターンシップ	三谷 昌輝	1		
	N	インターンシップI	各教員	1		
	N		各教員	1		
	N	インターンシップII	各教員	2		
	N		各教員	1		
	F	まちづくり工学	浦山 益郎、浅野 聡	2		
地域イノベーション学	N	生産システム工学	田中 信弥、山本 直樹、石井 裕、長谷 浩一	2		
	N	知的財産権概論(特別講義II)	狩野 幹人、八神 寿徳	1		
	N	環境流動学	安藤 俊剛	2		
	N	流体機械システム工学	鎌田 泰成	2		
	N	精密工学	高橋 裕	2		
	N	計測工学及び演習	早川 聡一郎	2.5		
	N	数値熱流体力学	辻本 公一	2		
	N	機械設計	松井 博和	2		
	N	エネルギー変換工学II	廣田 真史	2		
	N	半導体工学	平松 和政	2		
	N	材料科学	三宅 秀人、松井 龍之介、青木 裕介 元垣内 敦司	2	○	
	N	情報通信工学	森 香津夫	2		

科目群	分野	授業科目名	教員名	単位	他学部生等の受講	備考
地域イノベーション学	N	計算機工学I	高瀬 治彦	2		
	N	計算機工学II	鶴岡 信治	2	○	
	N	制御工学I	弓場井 一裕	2	○	
	N	電気機器工学	石田 宗秋	2		
	N	電気電子工学特別講義I	各教員	2		
	N	電気電子工学特別講義II	各教員	2		
	N	資源利用化学	金子 聡	2		
	N	工業化学概論	横森 万 他	2		
	N	分子素材工学特別講義I	古川 博章	1		
	N	分子素材工学特別講義II	川端 成彬	1		
	N	分子素材工学特別講義III	横森 万	1		
	N	分子素材工学特別講義IV	熊谷 純	1		
	F	地域計画	浦山 益郎	2		
	F	建築防災工学	畑中 重光、花里 利一	2		
	F	都市設計	浅野 聡	2		
	F	ファシリティマネジメント	加藤 彰一、大月 淳	2		
	F	建築企画設計	各教員	2		
	N	人工知能I	井須 尚紀	2		
	N	人工知能II	河合 敦夫	2		
	N	情報工学実験I	各教員	2		
	N	情報工学実験II	各教員	2	○	
	N	特別講義I	各教員	2		
	N	量子物理学	松永 守	2		
	N	材料科学	伊藤 智徳	2		
	N	物性物理学	内海 裕洋	2		
	N	トライボロジー	中村 裕一	2		
	N	電磁気学II	竹尾 隆	2		
N	アナログ電子回路工学	藤原 裕司	2			

生物資源学部

科目群	分野	授業科目名	教員名	単位	他学部生等の受講	備考
地域実践交流	F	フィールドサイエンスセンター農場実習III	奥田 均、長菅 輝義、三島 隆	1		
	F	フィールドサイエンスセンター演習林実習VI	沼本 晋也	1		
	F	社会科学チュートリアル	松井 隆宏 他	2		
	F	社会調査演習	徳田 博美 他	4		
	F	フィールドサイエンス実習	加治佐 隆光 他	1		
	F	実践農業農村工学	農業土木プログラム主任	2		
	F	公共事業インターンシップ	農業土木プログラム主任	1		
	N	未来地球システム学	坂本 竜彦	2	○	
	N	生物情報工学	亀岡 孝治	2	○	
	N	エネルギー利用学	鬼頭 孝治	2		
	N	ベンチャー企業論	小村 道昭(非常勤)	2		
	M	生物地球化学	松尾 奈緒子	2	○	
	M	植物・土壌と水	渡辺 晋生	2	○	
	M	環境土壌学実験	渡辺 晋生 他	1		
	M	陸海空・環境科学実習	松村 直人 他	1		
	M	地球規模水循環気象学	葛葉 泰久	2	○	
	F	魚類種苗生産学実習	吉岡 基・淀 太我	1		
	M	食品化学	磯野 直人	2		
	M	栄養化学	西尾 昌洋	2		
	F	微生物学	粟冠 和郎、福崎 智司	2	○	
	F	微生物利用学	粟冠 和郎、福崎 智司	2	○	
	F	マリンフードプロセス実習	福崎 智司、青木 恭彦	1		
	N	マリンバイオテクノロジー実験3	田丸 浩、柴田 敏行	1		

三重創生ファンタジスタ専任教員担当科目紹介

地域創発センターでは、「三重県内を深く知り、三重県で活躍したい」と考える学生を、より効果的に養成するため、三重創生ファンタジスタ専任教員が様々な県内関係者と協働し、5つの科目を平成29年度より新設します。各授業の詳細は下記のとおりです。シラバスもチェックして、積極的に受講してください。

科目群	分野	授業科目名	教員名	単位	他学部生等の受講	備考
地域イノベーション学	F	農林学総論	石川 知明、長屋 祐一	2		
	F	作物学	梅崎 輝尚	2	○	
	F	園芸学	平塚 伸	2	○	
	F	森林利用・情報学	石川 知明、板谷 明美	2		
	F	森林・緑環境計画学	松村 直人	2		
	F	地域社会論	波野野 豪	2	○	
	F	水産経済学	常 清秀	2		
	F	簿記会計演習II	平岩(非常勤)	2		
	F	食料・資源経済学II	松井 隆宏	2		
	F	農林統計学	山田 佳廣 他	2		
	F	農業農村工学キャリアアップ演習	農業土木プログラム主任	2		
	N	ローカル気象学	立花 義裕	2	○	
	N	環境計測実験	伊藤 良栄 他	1		
	N	食料生産システム学	佐藤 邦夫	2		
	N	農業食料工学実験	環境情報システム学講座教員	1		
	M	フードシステム学	亀岡 孝治	2	○	
	M	自然災害科学	葛葉 泰久	2	○	
	F	水産学総論	海洋コース教員	2		
	F	水産飼餌科学	吉松 隆夫	2		
	M	生命機能化学実験実習6	生命機能化学講座教員	1		
	M	生物プロセス工学	非常勤講師	2		
	F	食品工学	橋本 篤	2	○	
	F	食品安全化学	亀井 誠(非常勤講師)	2		
	F	水産食品衛生学	青木 恭彦	2	○	
	N	遺伝子工学	田丸 浩	2	○	
	N	バイオインフォマティクス	船原 大輔	2	○	
N	海洋資源微生物学	田中 礼士	2	○		

欄中の分野欄の略語は次のとおり F→食と観光分野 N→次世代産業分野 M→医療・健康・福祉分野 C→上記各分野に関連

科目群	科目名称(授業テーマ)	開講時限	担当教員
地域志向科目群	日本理解特殊講義 (三重の歴史と文化)	前期 水曜9・10限	永野 聡

授業の特徴

- 本授業は、大学が立地する三重について、
 - ① 歴史の概要と特色
 - ② 先人の努力の足跡と現代に通ずる先見性
 - ③ 将来の大交流時代に内外に発信できる三重の魅力と課題を学ぶものである。
- 授業は、通常の講義に加え、個々のテーマに精通したゲストスピーカーを迎え、その知見や体験を織り交ぜて進めることとしている。

担当教員から一言

ご縁があって入学した三重大学、学びの場は大学の塀の中だけではありません。豊富で多彩な文化がある三重について、地域のたくさんの先輩があなた方に語りかけます。あなたの未来づくりに役立ててください。

科目群	科目名称(授業テーマ)	開講時限	担当教員
地域志向科目群	現代社会理解特殊講義 (三重の産業)	後期 水曜9・10限	永野 聡

授業の特徴

- 本授業は、科学技術の発展や国際化、健康志向、高齢化等の時代の趨勢等を踏まえ、
 - ① 三重の産業の特色
 - ② 次世代の製造業
 - ③ 農林水産業の動向と技術革新
 - ④ 医療・介護問題の製造業・情報サービスを学ぶものである。
- 授業は、通常の講義に加え、個々のテーマに精通したゲストスピーカーを迎え、その知見や体験を織り交ぜて進めることとしている。

担当教員から一言

三重は工業、農林水産業の両面において、一流の実力を持っています。それを支える先輩が未来の成長分野について抱負を語ります。皆さんのライフプランに役立ててください。

平成29年度履修モデル紹介

※以下の科目は平成29年度対象の履修モデルであり、平成30年度以降、履修モデルが変更される可能性があります。

※「スタートアップセミナー」は全学必修科目であるため、履修モデルには記載していません。

人文学部

ねらい:三重県の地域産業の活性化を考える(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	地域から考える文化と社会	2	人文学部教員	
	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
地域実践交流科目群	1～2年	専門PBLセミナーA・B	2	法律経済学科教員	
	2～4年	産業経済論総論	4	豊福 裕二	
地域イノベーション学科目群	3年	産業経済論総論演習	4	豊福 裕二	

ねらい:三重県の食と農を考える(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	地域から考える文化と社会	2	人文学部教員	
	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
地域実践交流科目群	1～2年	専門PBLセミナーA・B	2	法律経済学科教員	
	2～4年	日本経済論	4	森 久綱	
地域イノベーション学科目群	3年	日本経済論演習	4	森 久綱	

ねらい:三重県の地域観光の活性化を考える(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	地域から考える文化と社会	2	人文学部教員	
	1年	教養教育科目	2	教養教育科目担当教員	
地域実践交流科目群	1～2年	専門PBLセミナーA・B	2	法律経済学科教員	
	2～4年	地域経済論	4	朝日 幸代	
地域イノベーション学科目群	3年	地域経済論演習	4	朝日 幸代	ただし半期分については、地域経済分析との併用も認める

ねらい:地域と共に生きる企業のあり方を考える(次世代産業)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	地域から考える文化と社会	2	人文学部教員	
	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
地域実践交流科目群	1～2年	専門PBLセミナーA・B	2	法律経済学科教員	
	1～4年	経営学総論	4	青木 雅生	
地域イノベーション学科目群	3年	経営学総論演習	4	青木 雅生	

ねらい:三重県の社会保障を考える(医療・健康・福祉)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	地域から考える文化と社会	2	人文学部教員	
	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
地域実践交流科目群	1～2年	専門PBLセミナーA・B	2	法律経済学科教員	
	2～4年	福祉経済論	4	石塚 哲朗	
地域イノベーション学科目群	3年	福祉経済論演習	4	石塚 哲朗	

科目群	科目名称(授業テーマ)	開講時限	担当教員
地域実践交流科目群	三重学 (食と観光実践)	前期集中	永野 聡

授業の特徴

- 本授業の特徴は、合宿型(2泊3日)かつ、3～5人のグループワークを通して地域課題(「食と観光」)を発見し、それについて深い分析・考察を加え、その成果を効果的に表現する事で、自らの考えを社会に還元する素養を修得する点にある。

担当教員から一言

三重県における社会的事象(ポストサミット、レガシーの活用、少子高齢化、人口減少、等)を深く理解し、関連する諸分野の知識を統合し、理想的な地域の有り様を探究しましょう。最先端の地域課題は現場にこそ存在します。

科目群	科目名称(授業テーマ)	開講時限	担当教員
地域実践交流科目群	現代社会理解実践 (次世代産業実践)	前期集中	永野 聡

授業の特徴

- 本授業の特徴は、合宿型(2泊3日)かつ、3～5人のグループワークを通して地域課題(「次世代産業」)を発見し、それについて深い分析・考察を加え、その成果を効果的に表現する事で、自らの考えを社会に還元する素養を修得する点にある。

担当教員から一言

三重県における社会的事象(次世代産業、ものづくり産業、等)を深く理解し、関連する諸分野の知識を統合し、理想的な地域の有り様を探究しましょう。最先端の地域課題は現場にこそ存在します。

科目群	科目名称(授業テーマ)	開講時限	担当教員
地域実践交流科目群	日本理解特殊講義 (医療・健康・福祉実践)	前期集中	永野 聡

授業の特徴

- 本授業の特徴は、合宿型(2泊3日)かつ、3～5人のグループワークを通して地域課題(「医療・健康・福祉」)を発見し、それについて深い分析・考察を加え、その成果を効果的に表現する事で、自らの考えを社会に還元する素養を修得する点にある。

担当教員から一言

三重県における社会的事象(僻地医療、地域包括ケア、健康地域づくり、等)を深く理解し、関連する諸分野の知識を統合し、理想的な地域の有り様を探究しましょう。最先端の地域課題は現場にこそ存在します。

ねらい：観光資源としての三重の歴史文化を考える(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	地域から考える文化と社会	2	人文学部教員	
	1年	日本文化論B(テーマ:日本の海女文化)	2	塚本 明 他	教養教育科目
	1年	日本史C(テーマ:江戸時代の古文書)	2	塚本 明	教養教育科目
地域実践交流科目群	2~4年	日本の歴史C・D・F	2~6	塚本 明	
	2~4年	日本歴史演習C・D・G・H	2~8	塚本 明	
地域イノベーション学科目群	2~4年	歴史学概論B	2	塚本 明	
	2~4年	日本歴史総合演習A・B	2~4	塚本 明	

ねらい：自治体と住民とのかわり合いに即しながら、地方自治の重要性や地方分権の意義を考える(医療・健康・福祉)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	地域から考える文化と社会	2	人文学部教員	
	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
地域実践交流科目群	1~2年	専門PBLセミナーA・B	2	法律経済学科教員	
	2~4年	地方自治論	4	岩崎 恭彦	
地域イノベーション学科目群	3年	地方自治論演習	4	岩崎 恭彦	

ねらい：地域とともに生きる市民と行政がはたすべき役割、法を考える(医療・健康・福祉)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	地域から考える文化と社会	2	人文学部教員	
	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
地域実践交流科目群	1~2年	専門PBLセミナーA・B	2	法律経済学科教員	
	2~4年	行政法総論	4	前田 定孝	
地域イノベーション学科目群	3年	行政法演習	4	前田 定孝	

ねらい：地域とともに生きる市民と企業の公共政策を考える(医療・健康・福祉)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	地域から考える文化と社会	2	人文学部教員	
	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
地域実践交流科目群	1~2年	専門PBLセミナーA・B	2	法律経済学科教員	
	2~4年	財政学	4	川地 啓介	
地域イノベーション学科目群	3年	財政学演習	4	川地 啓介	

教育学部

ねらい：三重の新しい食を考える(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	消費者教育論	2	吉本 敏子	三重の食に関する行政の役割
地域実践交流科目群	2年	調理実習II	1	平島 円	三重の郷土料理・行食事食
	2年	食品学	2	磯部 由香	三重の農林水産物についての特徴
	2年	食生活論	2	平島 円	三重の食文化について
地域イノベーション学科目群	3年	食物学実験	1	磯部 由香	三重の農林水産物の成分分析
	3年	食品材料学	2	磯部 由香	三重の農林水産物を使った商品開発

ねらい：地域とものづくり(次世代産業)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	技術学概論	1	松岡 守、魚住 明生	三重のものづくりと教育
	2~4年	工場見学	1	松岡 守	三重のものづくり産業の理解
地域実践交流科目群	1年	教育実地研究基礎	1	魚住 明生	三重のものづくり教育に関する連携
	4年	教職実践演習	2	松岡 守、魚住 明生	三重のものづくり教育に関する連携
地域イノベーション学科目群	1年	機械工学概論	1	松本 金矢	機械に関するプロジェクト
	1年	電気工学概論	1	松岡 守	電気に関するプロジェクト
	1年	木材工学概論	1	中西 康雅	木工に関するプロジェクト
	1年	金属加工学概論	1	中西 康雅	金属に関するプロジェクト
	1年	情報工学概論	1	非常勤講師	情報に関するプロジェクト

ねらい：三重の特別支援教育を考える(医療・健康・福祉)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	特別支援教育観察参加	2	荒川 哲郎、菊池 紀彦 郷右近 歩、栗田 季佳	三重県内を中心とした学校、施設の 見学実習
	1年	教育実地研究基礎	2	荒川 哲郎、菊池 紀彦 郷右近 歩、栗田 季佳	三重県内の小・中・特別支援学校の 見学実習
	1~2年	障がい学生支援実践	2	栗田 季佳 他	三重県内で活躍する方を講師に迎え、 障がいについての実践的学習を行う。
地域実践交流科目群	2~4年	知的障害者の教育と福祉	2	荒川 哲郎、栗田 季佳	三重県内で自立生活を送る方々を ゲストスピーカーに迎え、共生に向 けての課題について議論する
地域イノベーション学科目群	4年	教育実地研究	2	荒川 哲郎、菊池 紀彦 郷右近 歩、栗田 季佳	三重県内の小中学校における特別な 支援を必要とする児童生徒への支援
	4年	教職実践演習	2	荒川 哲郎、菊池 紀彦 郷右近 歩、栗田 季佳	三重県立特別支援学校における 児童生徒への支援

ねらい：健康と教育に関わる体育・運動・スポーツ(医療・健康・福祉)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	スポーツ健康科学概論	2	スポーツ健康科学担当教員	三重の体育・運動・スポーツの特色
地域実践交流科目群	1年	教育実地研究基礎	2	保体教員	三重の子供における健康と運動・スポーツ
	1年	レクリエーションナルスポーツ	1	大隈 節子	三重における保健体育教員の人材育成
	1~2年	野外運動I	1	岡野 昇	三重における野外運動の実際
	2年	衛生学及び公衆衛生学	2	重松 良祐	三重の成人の運動・スポーツの特色
	2~3年	健康管理学	2	富樫 健二	三重の子供の運動・スポーツの特色
	3~4年	健康管理学演習	2	富樫 健二	三重における子供の運動不足解決
地域イノベーション学科目群	3~4年	衛生学及び公衆衛生学演習	2	重松 良祐	三重における成人の運動不足解決
	4年	教職実践演習	2	岡野 昇、加納 岳拓	三重における保健体育教員の人材育成

医学部

ねらい：三重地域で活躍できる医療人材の育成及び地域医療への貢献を考える(医療・健康・福祉)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	医学医療B(テーマ:臨床医学最近の話題)	2	影山 慎一 他	
	1年	医学医療B(テーマ:急病の観察と判断)	2	丸山 一男	
	1年	医学医療C(テーマ:いたみの科学)	2	丸山 一男 他	
	1年	医学医療入門	2	望木 郁代 他	
	1年	国際保健と地域医療	2	堀 浩樹 他	
地域実践交流科目群	1年	医療と社会	4	竹村 洋典 他	
	1~2年	地域基盤型保健医療教育実習	4	堀 浩樹 他	
	3年	社会と医学	3	益島 茂、村田 真理子 那谷 雅之 他	
地域イノベーション学科目群	4~6年	臨床実習	60	各診療科教員	

ねらい：地域特性に応じた健康活動における看護師の役割を考える(医療・健康・福祉)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
	1年	医学医療入門	1	望木 郁代 他	※他学部学生の受講可。但し、当科目 の受講に意欲的な学生が対象。
地域実践交流科目群	1年	食生活論	1	樋畑 博重	※他学部学生の受講可。 但し、当科目の受講に相応しい生化学・ 栄養学の知識を持つ学生が対象。
	2年	災害看護学	1	西出 りつ子 他	※他学部学生の受講可。但し、当科目 の受講に意欲的な学生が対象。
	2年	小児看護学II	1	村端 真由美 仁尾 かおり 他	※他学部学生の受講不可。 喘息キャンプ・糖尿病キャンプへの 参加が単位取得必須条件となる。
	3年	成人看護学実習II	4	辻川 真弓 他	※他学部学生の受講不可。
	3年	老年看護学実習II	2	磯和 勲子 他	※他学部学生の受講不可。
地域イノベーション学科目群	4年	看護システム論II	1	宮田 千春	※他学部学生の受講不可。
	4年	統合実習I	2	統合実習I担当教員 他	※他学部学生の受講不可。

ねらい：地域特性と健康レベルに応じた健康支援活動を考える(医療・健康・福祉)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1～2年	医学医療C (テーマ:現代社会と健康)	2	片岡 三佳 他	
	2年	災害看護学	1	西出 りつ子 他	※他学部学生の受講可。 但し、当科目の受講に意欲的な 学生が対象。
地域実践交流科目群	2年	精神保健看護論	1	小森 照久 他	※他学部学生の受講可。 但し、当科目の受講に意欲的な 学生が対象。
	3年	公衆衛生看護学Ⅱ	4	西出 りつ子 畑下 博世、石本 恭子	※他学部学生の受講可。 但し、当科目の受講に意欲的な 学生が対象。
地域イノベーション学科目群	4年	統合実習Ⅰ(地域看護学)	2	西出 りつ子 畑下 博世、石本 恭子	※他学部学生の受講可。 但し、当科目の受講に意欲的な 学生が対象。

※「災害看護学 担当教員:西出 りつ子 他」は履修モデルによって、地域志向科目であり、地域実践交流科目でもありますが、三重創生ファンタジスタ資格認定するうえで、どちらかの科目群でしか認められませんのでご注意ください。

工学部

ねらい：三重地域の交通機械の先端技術に貢献する。(次世代産業)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
	1年	機械工学フレッシュマンゼミナール	1	各教員	
	1年	機械運動学	2	野村 由司彦	
	1年	交通機械	2	竹市 直、松本 光一郎 藤田 将一郎	
地域実践交流科目群	3年	工場実習	1	各教員	
	1～3年	工場見学	1	各教員	
地域イノベーション学科目群	3年	生産システム工学	2	田中 信弥、山本 直樹 石井 裕、長谷 浩一	
	3年	知的財産権概論	1	狩野 幹人、八神 寿徳	
	3年	環境流動学	2	安藤 俊剛	
	3年	流体機械システム工学	2	鎌田 泰成	
	3年	精密工学	2	高橋 裕	
	3年	計測工学及び演習	2.5	早川 聡一郎	
	3年	数値熱流体力学	2	辻本 公一	
	3年	機械設計	2	鈴木 実平	
	3年	エネルギー変換工学Ⅱ	2	廣田 真史	

ねらい：三重地域の電気電子工学関連産業の先端技術に貢献する。(次世代産業)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
地域実践交流科目群	3年	企業見学	1	各教員	
	3年	インターンシップⅠ	1	各教員	
	3年	インターンシップⅡ	2	各教員	
地域イノベーション学科目群	3年	半導体工学	2	平松 和政	
	2年	材料科学	2	三宅 秀人、松井 龍之介 青木 裕介、元垣内 敦司	
	3年	情報通信工学	2	小林 英雄	
	2年	計算機工学Ⅰ	2	高瀬 治彦	
	3年	計算機工学Ⅱ	2	鶴岡 信治	
	3年	制御工学Ⅰ	2	弓場井 一裕	
	2年	電気機器工学	2	石田 宗秋	
	3年	電気電子工学特別講義Ⅰ	1	各教員	
	3年	電気電子工学特別講義Ⅱ	1	各教員	

ねらい：三重地域の化学産業の先端技術に貢献する。(次世代産業)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
地域実践交流科目群	3年	工場見学	1	各教員	
	3年	インターンシップ	1	三谷 昌輝	
地域イノベーション学科目群	3年	資源利用化学	2	金子 聡	
	3年	工業化学概論	2	横森 万 他	
	3年	分子素材工学特別講義Ⅰ	1	古川 博章	
	3年	分子素材工学特別講義Ⅱ	1	川端 成彬	
	3年	分子素材工学特別講義Ⅲ	1	横森 万	
	3年	分子素材工学特別講義Ⅳ	1	熊谷 純	

ねらい：三重地域のまちづくりと防災に貢献する。(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
地域実践交流科目群	3年	まちづくり工学	2	浦山 益郎、浅野 聡	
地域イノベーション学科目群	3年	地域計画	2	浦山 益郎	
	3年	建築防災工学	2	畑中 重光、花里 利一	
	2年	都市設計	2	浅野 聡	
	2年	ファシリティマネジメント	2	加藤 彰一、大月 淳	
	4年	建築企画設計	2	各教員	

ねらい：三重地域の人工知能や感性価値志向型の先端技術に貢献する。(次世代産業)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
地域実践交流科目群	3年	工場見学	1	各教員	
	3年	インターンシップⅠ	1	各教員	
	3年	インターンシップⅡ	1	各教員	
	3年	情報工学実験Ⅰ	2	各教員	
地域イノベーション学科目群	2年	人工知能Ⅰ	2	井須 尚紀	
	3年	人工知能Ⅱ	2	河合 敦夫	
	3年	情報工学実験Ⅱ	2	各教員	

ねらい：三重地域の先端材料活用産業および環境・エネルギー関連産業における先端技術に貢献する。(次世代産業)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	教養教育科目	2	教養教育担当教員	
	1年	物理学セミナー	2	各教員	
地域実践交流科目群	3年	工場実習	1	各教員	
	1～3年	工場見学	1	各教員	
地域イノベーション学科目群	4年	特別講義Ⅱ	1	狩野 幹人、八神 寿徳	
	3年	特別講義Ⅰ	2	各教員	
	4年	量子物理学	2	松永 守	
	3年	材料科学	2	伊藤 智徳	
	4年	物性物理学	2	内海 裕洋	
	3年	トライボロジー	2	中村 裕一	
	3年	電磁気学Ⅱ	2	竹尾 隆	
	3年	アナログ電子回路工学	2	藤原 裕司	

生物資源学部

ねらい:地域特性に応じた農林業に必要な基礎知識を習得するとともに、それら知識の現場への普及を実習により学ぶ。(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	2年	フィールドサイエンスセンター農場実習III	1	奥田 均、長苜 輝義 三島 隆	
		地域イノベーション学科目群	1年	農林学総論	2
地域イノベーション学科目群	2年	作物学	2	梅崎 輝尚	
	2年	園芸学	2	平塚 伸	
	2年	森林利用・情報学	2	石川 知明、板谷 明美	どちらか1つを選択
	2年	森林・緑環境計画学	2	松村 直人	

ねらい:地域特性に応じた農林業に必要な基礎知識を習得するとともに、それら知識の現場への普及を実習により学ぶ。(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	3年	フィールドサイエンスセンター演習林実習VI	1	沼本 晋也	
地域イノベーション学科目群	1年	農林学総論	2	石川 知明、長屋 祐一	
	2年	森林利用・情報学	2	石川 知明、板谷 明美	
	2年	森林・緑環境計画学	2	松村 直人	
	2年	作物学	2	梅崎 輝尚	どちらか1つを選択
	2年	園芸学	2	平塚 伸	

ねらい:地元の食と農に関わる実践者のオムニバス授業である生物資源学Aをコア科目としてPBL、講義、演習を重ね、地産地消を志向する食と観光の有機把握を目指す。(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域志向科目群	1年	生物資源学A(テーマ:食と農)	2	波野野 豪 他	教養教育科目
地域実践交流科目群	2年	社会科学チュートリアル	2	松井 隆宏 他	
	3年	社会調査演習	4	徳田 博美 他	
	3年	地域社会論	2	波野野 豪	
地域イノベーション学科目群	3年	水産経済学	2	常 清秀	

ねらい:簿記会計、経済学、統計学の知識を身に付けてうえで現場に足を運び、多角的な視点から問題解決方法を探る。(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	3年	社会調査演習	4	徳田 博美 他	
地域イノベーション学科目群	3年	簿記会計演習II	2	平岩 勇一(非常勤)	
	3年	食料・資源経済学II	2	松井 隆宏	
	3年	農林統計学	2	山田 佳廣 他	

※インターンシップは、農林水産業の現場へ行くこと。

ねらい:観光資源として魅力的で良好な農村環境を創造しながら、国際競争力のある生産性の高い食料生産基盤を整備できる人材の育成を目指す。(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	2年	フィールドサイエンス実習	1	加治佐 隆光 他	
	3年	実践農業農村工学	2	農業土木プログラム主任	
	3年	公共事業インターンシップ	1	農業土木プログラム主任	
地域イノベーション学科目群	3年	農業農村工学キャリアアップ演習	2	農業土木プログラム主任	

ねらい:自然と人からなる地域をシステムとして理解し、自然エネルギーを活用した持続的なシステムを構築できる人材の育成を目指す。(次世代産業)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	2年	未来地球システム学	2	坂本 竜彦	
	2年	生物情報工学	2	亀岡 孝治	
地域イノベーション学科目群	3年	ローカル気象学	2	立花 義裕	
	3年	環境計測実験	1	伊藤 良栄 他	

ねらい:地域産業である農業は、低環境負荷型生産システムにより生産性を維持・向上させることが重要である。本カリキュラムでは、自然エネルギーの利用と生産システムの構造を理解し、地域の農業を魅力ある産業として創造できる人材養成を目指す。(次世代産業)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	2年	エネルギー利用学	2	鬼頭 孝治	
	2年	ベンチャー企業論	2	小村 道昭(非常勤)	
地域イノベーション学科目群	3年	食料生産システム学	2	佐藤 邦夫	
	3年	農業食料工学実験	1	環境情報システム学講座教員	

ねらい:地域における水やエネルギー、物質の循環と生態圏の関わりを理解し、健康で持続的な環境づくりに貢献できる人材の育成を目指す。(医療・健康・福祉)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	2年	生物地球化学	2	松尾 奈緒子	
	2年	植物・土壌と水	2	渡辺 晋生	
	2年	環境土壌学実験	1	渡辺 晋生 他	
地域イノベーション学科目群	3年	フードシステム学	2	亀岡 孝治	

ねらい:地域・全球スケールでおこる異常気象や自然災害のしくみを理解し、地域の防災・安全に貢献できる人材の育成を目指す。(医療・健康・福祉)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	3年	陸海空・環境科学実習	1	松村 直人 他	
	2年	地球規模水循環気象学	2	葛葉 泰久	
地域イノベーション学科目群	3年	自然災害科学	2	葛葉 泰久	
	3年	ローカル気象学	2	立花 義裕	

ねらい:学生の食、特に我が国の食料として重要な位置を占める魚介類の持続的生産および流通に対する関心を高め、地域の特性を活かした生産と消費について考える力を涵養する。(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	3年	魚類種苗生産学実習	1	吉岡 基、淀 太我	
地域イノベーション学科目群	2年	水産学総論	2	海洋コース教員	
	3年	水産飼餌科学	2	吉松 隆夫	
	3年	水産経済学	2	常 清秀	

ねらい:健康を目指し、地域資源を用いた機能性食品やサプリメントを創成するための人材養成カリキュラム(医療・健康・福祉)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	2年	食品化学	2	磯野 直人	
	3年	栄養化学	2	西尾 昌洋	
地域イノベーション学科目群	3年	生命機能化学実験実習6	1	生命機能化学講座教員	
	3年	生物プロセス工学	2	非常勤講師	

ねらい:健康を目指し、地域資源を用いた機能性食品やサプリメントを創成するための人材養成カリキュラム(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	2年	微生物学	2	栗冠 和郎、福崎 智司	
	2年	微生物利用学	2	栗冠 和郎、福崎 智司	
地域イノベーション学科目群	3年	食品工学	2	橋本 篤	
	3年	生命機能化学実験実習6	1	生命機能化学講座教員	

ねらい:学生の食に対する関心を高め、食品の安全につながる品質および衛生管理について学ぶ。また、水産加工製品の製造原理を理解し、品質管理および食品衛生への実践的思考を養う。(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	3年	マリンフードプロセス実習	1	福崎 智司、青木 恭彦	
地域イノベーション学科目群	2年	水産食品衛生学	2	青木 恭彦	
	2年	微生物学	2	栗冠 和郎、福崎 智司	
	3年	食品安全化学	2	河合 義雄(非常勤講師)	

ねらい:学生の食に対する関心を高め、食品の安全につながる品質および衛生管理について学ぶ。また、水産加工製品の製造原理を理解し、品質管理および食品衛生への実践的思考を養う。(食と観光)

科目群	学年	授業科目名	単位	担当者	備考
地域実践交流科目群	3年	マリンバイオテクノロジー実験3	1	田丸 浩、柴田 敏行	
地域イノベーション学科目群	2年	遺伝子工学	2	田丸 浩	
	3年	バイオフィオマティクス	2	船原 大輔	
	3年	海洋資源微生物学	2	田中 礼士	

三重創生ファンタジスタ資格認定副専攻ガイド

カリキュラムマップ

履修イメージ図(平成28年度以降入学生対象)

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期	備考
地域志向科目群 (4単位以上)	① スタートアップセミナー (必修科目・2単位)								1年次前期に開催される スタートアップセミナー (必修)を受講する。
		その他地域志向科目群 授業一覧から1科目 (2単位)以上							あくまでも学年は 目安であり、他の学年で 修得しても認定される。
地域実践交流 科目群 (2単位以上)			地域実践交流科目群から1科目 (2単位)以上						あくまでも学年は 目安であり、他の学年で 修得しても認定される。
地域イノベーション学 科目群 (2単位以上)					地域イノベーション学科目群から1科目 (2単位)以上				あくまでも学年は 目安であり、他の学年で 修得しても認定される。
3つの科目群から12単位以上修得									

資格取得説明会

「学びの振り返り・成果を提出(12単位修得後)」

履修登録手続き

副専攻コースは、①地域志向科目群(4単位以上)②地域実践交流科目群(2単位以上)③地域イノベーション学科目群(2単位以上)からそれぞれ定められた単位数を修得することで、資格認定されます。また、その際、どの分野を体系的に学ぶかによって、資格認定された際の名称が異なります。

三重創生ファンタジスタ
(食と観光)

三重創生ファンタジスタ
(次世代産業)

三重創生ファンタジスタ
(医療・健康・福祉)

資格認定副専攻コースの登録を希望する場合は、「意向届」を地域創発センター(後述24ページ)へ提出してください。「意向届」の提出をもって、三重創生ファンタジスタ資格認定副専攻コースの登録を認めます。なお、意向届には登録を希望する分野を、下記の中から選択して記入してください。また、地域実践交流科目群と地域イノベーション学科目群については、登録した分野の授業科目を必ず選択してください。

分野

食と観光

次世代産業

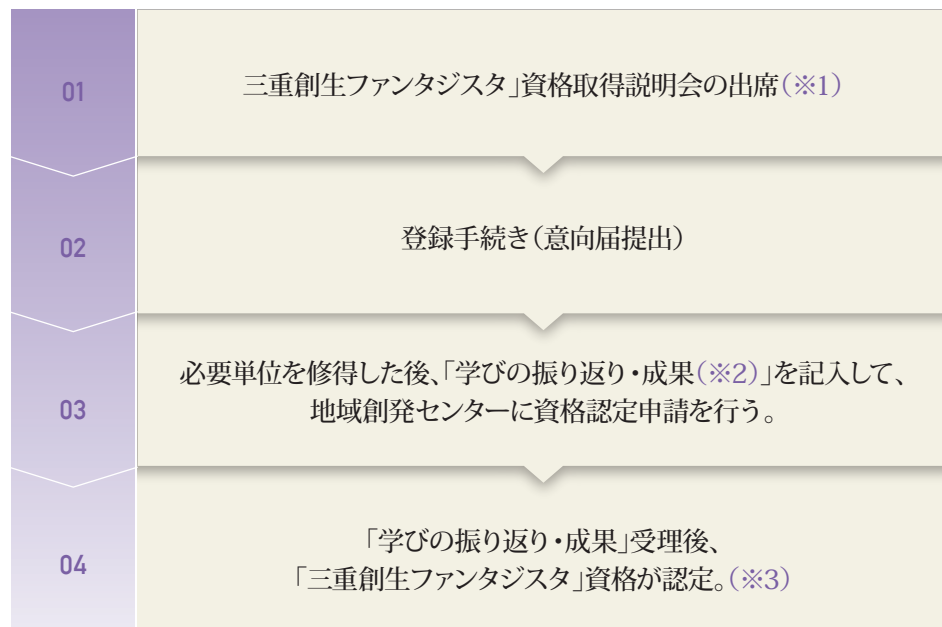
医療・健康・福祉

履修登録に伴う注意事項

- 本冊子に記載の科目リストは、今後科目を変更する場合があります。その際は、地域創発センターから案内がありますので、その指示に従ってください。
- 履修モデルに記載の科目についても、科目を変更する可能性があります。その際も、地域創発センターからの指示に従ってください。
- 本冊子の記載事項についての修正、もしくは記載のない事項について地域創発センターから連絡があった場合は、その指示に従ってください。
- 他学部の授業の履修を希望するときは、地域創発センター事務室へ相談して下さい。

資格認定までの大きな流れ

履修登録手続きから、資格認定までの大まかな流れは以下のとおりになります。



(※1) 説明会では、その年次の「三重創生ファンタジスタ資格認定副専攻ガイド」を配布し、変更点等の詳細を伝えますので、極力参加するようにしてください。出席出来なかった場合は、地域創発センターに相談に来てください。

(※2) 「学びの振り返り・成果」の書式、詳細は後日地域創発センターから案内があります。

(※3) 「三重創生ファンタジスタ」資格は副専攻コースのため、卒業が決定するまでは、正式には認定されません。

● 就職活動をする際には、「三重創生ファンタジスタ資格認定見込証明書(仮称)」が発行されます。発行に至る要件、手続き方法等については、後日地域創発センターから案内があります。

副専攻コースにおける相談窓口・提出窓口

副専攻コースを履修するうえで、困ったことがあれば下記の問い合わせ窓口にご連絡してください。

三重創生ファンタジスタ資格副専攻コース全般に関する
相談窓口・提出窓口

三重大学地域創発センター

所在地:三重大学 総合研究棟II 3階 地域創発センター事務室

TEL.059-231-9969 (事務:学務部地域人材教育開発機構チーム 天池・矢田)

TEL.059-231-9044 (専任教員:永野)

Mail. fantasista@cocpls.mie-u.ac.jp

履修に関すること、就職に関すること等、適切なアドバイザーにお繋げします。

地図



Q&A

よくある質問

三重創生ファンタジスタ
資格認定副専攻ガイド

Q.1

Q 副専攻コースの登録手続きは、いつまでに行えば良いですか。

A 平成29年4月24日(月)17時まで、意向届を地域創発センター事務室に直接持参してください。期日までに手続きが行えない場合は、地域創発センター事務室に相談に来てください。

Q.2

Q 登録することを今は迷っています。例えば2年次以降に登録したくなった場合、認められないのでしょうか。

A 登録手続きはいつでも可能です。ただし、登録にあたり説明すべきこと、注意点等が多々ありますので、地域創発センター事務室へ相談に来てください。

Q.3

Q 最初の意向届提出時は、「食と観光」分野で登録を希望しましたが、12単位揃えた後、他の分野の資格を目指した場合、どちらも資格認定されますか。

A 複数の分野で資格認定は可能です。ただし、意向届提出時に分野を登録するため、別の分野の資格認定を目指す場合は、再度意向届を提出してください。「学びの振り返り・成果」も申請分野数分必要になります。また、以下のことに注意してください。

複数の分野で資格取得を目指す場合

地域志向科目群	複数の分野で重複しても構いません。
地域実践交流科目群	複数の分野で重複することは認められません。
地域イノベーション学科目群	複数の分野で重複することは認められません。

Q.4

Q 意向届等の書式はどこで手に入れますか。

A 三重大学地域創発センターHP「三重創生ファンタジスタ資格」から、ダウンロードできます。その他様々な情報が掲載されています。最新情報をチェックするようにしてください。

Q.5

Q 副専攻コースの必要単位数以上修得した場合、その単位はどうなるのでしょうか。

A 副専攻コースの単位としては認められても、卒業単位として認められるかどうかは、所属学部の履修要項に基づきます。詳しくは、所属学部の学務担当に確認してみてください。

Q.6

Q いつの時点で副専攻コースを修了したことになるのでしょうか。例えば、3年間で副専攻コースに必要な単位数を修得し、「学びの振り返り・成果」が認められた場合、その時点で認定されますか。

A 修了に何年かけるかは自由ですが、必要単位数を満たしていても、副専攻コースは卒業が決定した時点で修了になりますので、それまでは正式に修了したことにはなりません。但し、「三重創生ファンタジスタ資格認定見込証明書(仮称)」は発行されますので、必要であれば申請してください。

Q.7

Q 他学部生に開放されている科目を受講した場合でも、三重創生ファンタジスタ資格の対象科目になるのでしょうか。

A 三重創生ファンタジスタ資格の対象科目になります。ただし、他学部の授業は卒業単位にならない可能性があるため、所属学部の学務担当に確認してみてください。